

現代の人権 「インターネットにひそむ危険」

○情報化社会の中で

インターネットは日常生活の利便性を飛躍的に高めました。多くの人にとってインターネットはなくてはならないものになっています。しかし、それは常に安心して利用できるものとは限りません。軽い気持ちで情報発信した結果、個人情報や外部にもれ、プライバシーの侵害や情報の悪用が起きることもあります。その結果、誰もが人権侵害の被害者、加害者になる恐れがあります。

○インターネットにひそむ危険1 詐欺等の犯罪やウイルス感染

インターネットでは、詐欺等の犯罪やウイルス感染が発生します。主なものは次の通りです。

- ・偽物のサイトに誘導し、クレジットカード番号などの個人情報を盗み取る「フィッシング詐欺」
- ・電子メールなどで誘導して、クリックすると架空請求などを送ってくる「ワンクリック詐欺」
- ・架空の品物を出品し、購入希望者からお金をだまし取る「オークション詐欺」
- ・ネットを通して侵入（感染）し、システムに障害をもたらすコンピュータ・ウイルス

こうした危害には多様な手口があり、その手口も年々巧妙化してきています。インターネット上のやり取りで少しでも不審な点を感じたら、発信元や真偽を確認する姿勢が重要です。

○インターネットにひそむ危険2 個人情報公開の危険性

インターネット上のブログなどで発信された情報は、多様な人が閲覧します。たとえば、住所や電話番号が公開されていれば、その情報を見た人があなたに興味を持って、自宅の周りをうろついたり、電話をかけてきたりするかもしれません。ブログに載せた写真や動画から最寄りの駅や通学先を特定され、ストーカー被害にあうこともあります。こうした被害に遭わないためには、インターネット上にむやみに個人情報を公開しないことが重要です。

○インターネットにひそむ危険3 著作権侵害に注意

情報を発信する際には、著作権の侵害にも注意が必要です。写真、イラスト、音楽など、インターネット上に掲載されているほとんどのものは誰かが著作権を持っています。これらを、権利者の承諾を得ないままコピーして自分のホームページに載せることは著作権侵害にあたります。また、人物の写真などの場合は、撮影者に著作権があるだけでなく、写っている人には「肖像権」があるため、ホームページ等に載せる場合は、相手の承諾が必要になる場合があります。

○サイバーセキュリティとは

私たちがインターネットやコンピュータを使う際に、大切な情報が外部に漏れたり、ウイルスに感染してデータが壊されたりしないように、必要な対策をすること。それがサイバーセキュリティ対策です。情報通信の技術が発達した現代では、情報の盗難やシステムの破壊といった犯罪があります。インターネットなど情報通信技術への社会の依存度が高まるにしたがって、サイバーセキュリティ対策はますます重要になってきました。

○2月1日～3月18日は「サイバーセキュリティ月間」です。

▶問い合わせ先＝生涯学習課 生涯学習係 ☎ 56 9159